

SAC報告

2011.1.19 すばるUM

すばる小委員会

委員長 有本信雄

SACとは... (新ユーザーのために)

- Subaru Advisory Committee
(すばる小委員会)
- ほぼ毎月(3月を8月を除く)開催
- すばる運用に関わるさまざまな事項を議論
- 現在は台内委員6名、台内委員9名で構成し、
任期は2010年7月から2012年6月まで。
- ユーザーインターフェースとして、また観測所の
の諮問機関として機能

2010年度SAC委員名簿

(敬称略)

青木和光	国立天文台・ハワイ観測所(三鷹)	
有本信雄	国立天文台・ハワイ観測所(三鷹)	委員長
臼田知史	国立天文台・ハワイ観測所	
高遠徳尚	国立天文台・ハワイ観測所	(南極出張中)
田村元秀	国立天文台・系外惑星プロジェクト	
中村文隆	国立天文台・理論研究部	
秋山正幸	東北大学	
太田耕司	京都大学	
岡本美子	茨城大学	
川端弘治	広島大学	
菅井肇	京都大学	
高田昌広	東大IPMU	
松原英雄	JAXA	
本原顕太郎	東京大学	
吉田道利	広島大学	副委員長

今年度のSACの活動

- FMOS戦略枠公募に関する議論
- 戦略枠の占有時間に関する議論
- ALMA-Subaru Science WSの開催
- 将来装置計画WSの開催
- GeminiとのMOU案の検討
- PFSに関する検討
- UMの開催
- 京都大学・院生との懇談会(2010.10.19)
- 第1回 「SACに物申す」

FMOS戦略枠公募の経過

- 2010年2月のSACで公募準備開始を観測所に提言
- 2010年5月のSACで公募要項案(観測所案)の検討
- 2010年6月1日付 公募要項公開
- 2010年6月のSACで予備審査を依頼する有識者を選任
- 2010年9月30日 公募締切 1件178夜の提案
- 2010年10月 有識者への予備審査の依頼・コメント受領
- 2010年11月のSACで有識者意見を元に一次審査を行い、差し戻し・再提出を決定
- 2011年1月14日 再提出締切
- 2011年1月21日 SACによる一次審査

FMOS戦略枠提案の一次審査結果 (2010.11.16)

- 銀河進化と宇宙論の二つのテーマは内容が乖離しているので、二つを分離して、それぞれのチームがもう一度提案して頂きたい。その際の参考として、銀河進化についてはインテンシブ枠でもカバーできることを考慮してほしい。
- 再提出の締切りは1月のSACの1週間前(1月14日JST)とし、1月21日のSACで戦略枠としてふさわしい提案と認められれば、次の段階(TACによるサイエンス審査)に回すこととした。

戦略枠の占有時間に関する議論

- 戦略枠の占有時間は共同利用時間の25% (年間60夜 + 所長裁量時間から10夜程度の拠出) を上限としている。
- 近い将来戦略枠が3つ同時に走ることが予想され、その場合、25%内に収まらない可能性がある。それを今後認めるのか、25%上限を死守するのかは継続審議中。
- 個別共同利用で幅広いサイエンスが保証されることは重要。一方で戦略枠創設の趣旨からいえば大規模観測によって国際的な成果を上げることも重要。
- 現状ではS11Bまでは25%以内に収まる。その後のセメスタについては今後も慎重に議論を継続する。

Gemini/Keckとの時間交換

- 交換夜数は5夜前後でセメスタ毎の交渉(少ないほうに合わせる)
- Keckとの時間交換は每期でなく4期で夜数を均衡
- Geminiとの時間交換
 - S11AからToO以外のキュー観測も申請可能
 - キュー観測の交換比率
 - クラシカル1夜=Band1の7.5時間(計50時間未満)
 - クラシカル1夜=Band1-3の10時間(計50時間以上になれば)
- G/Kの装置について知って応募してみては？
(注) Geminiは南天観測が可能！

その他

- 短時間ずつ長期にわたる観測を希望する場合、すばるでセメスタごとの申請を繰り返すか、時間交換でGeminiのキューモードを利用するしかない。インテンシブの下限を取り払う等の方法も考えられるが、どの程度のニーズがあるか？
- PFS検討については午後に別途報告します。